

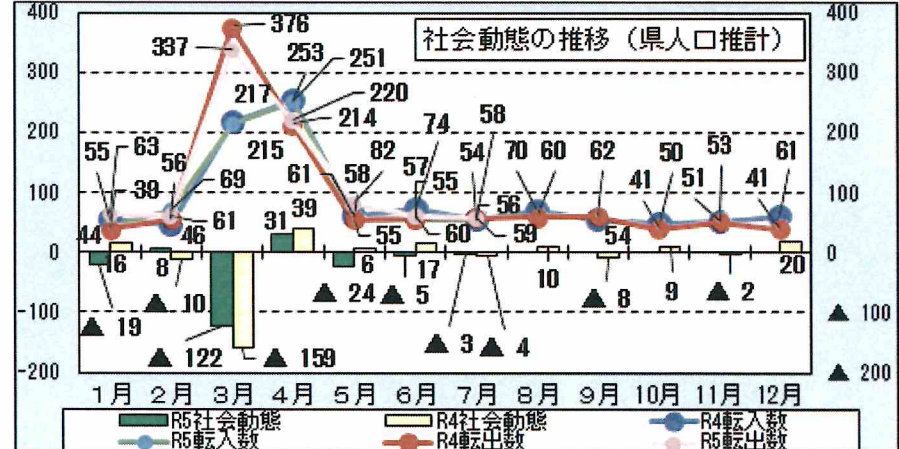
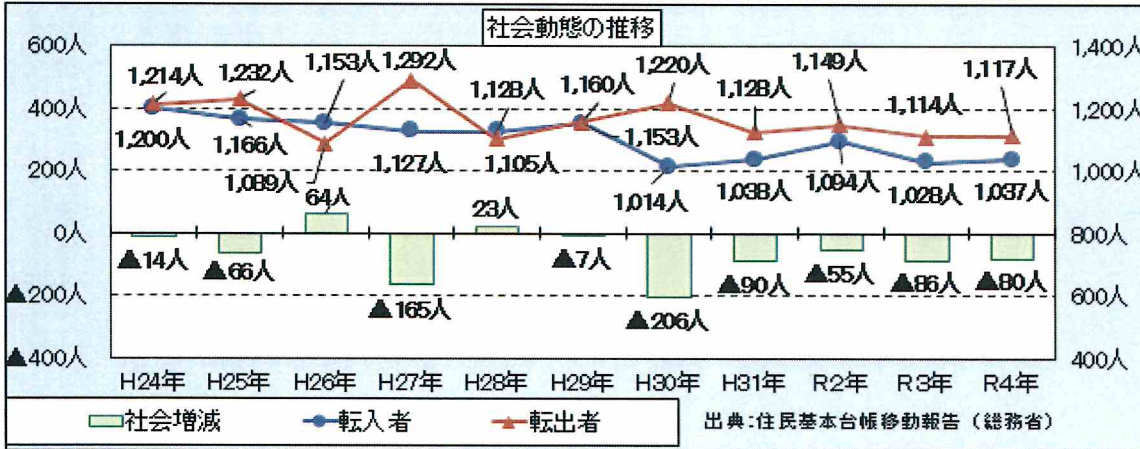
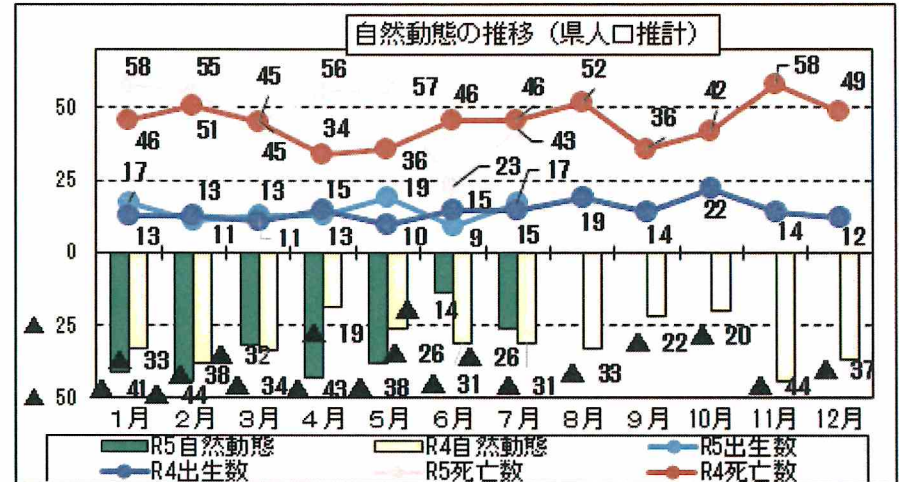
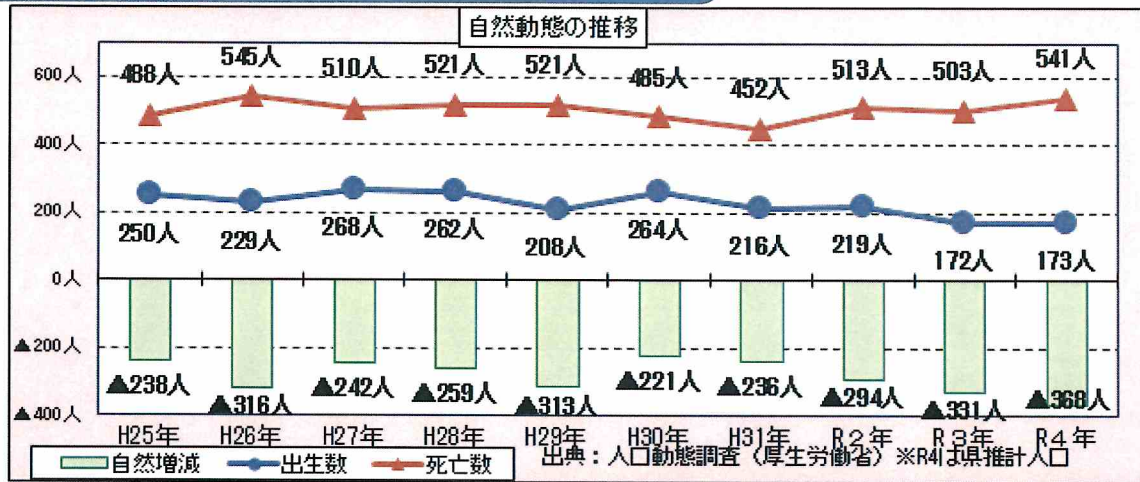
# 令和5年度 第1回

## 四万十市産業振興計画フォローアップ委員会資料



# 1 四万十市の産業状況等①

## 1 人口移動について



自然動態（出生数、死亡数）→【自然増減】令和3年：▲331人 令和4年：▲368人 前年度比較 ▲37人と減少数が増えている状況。

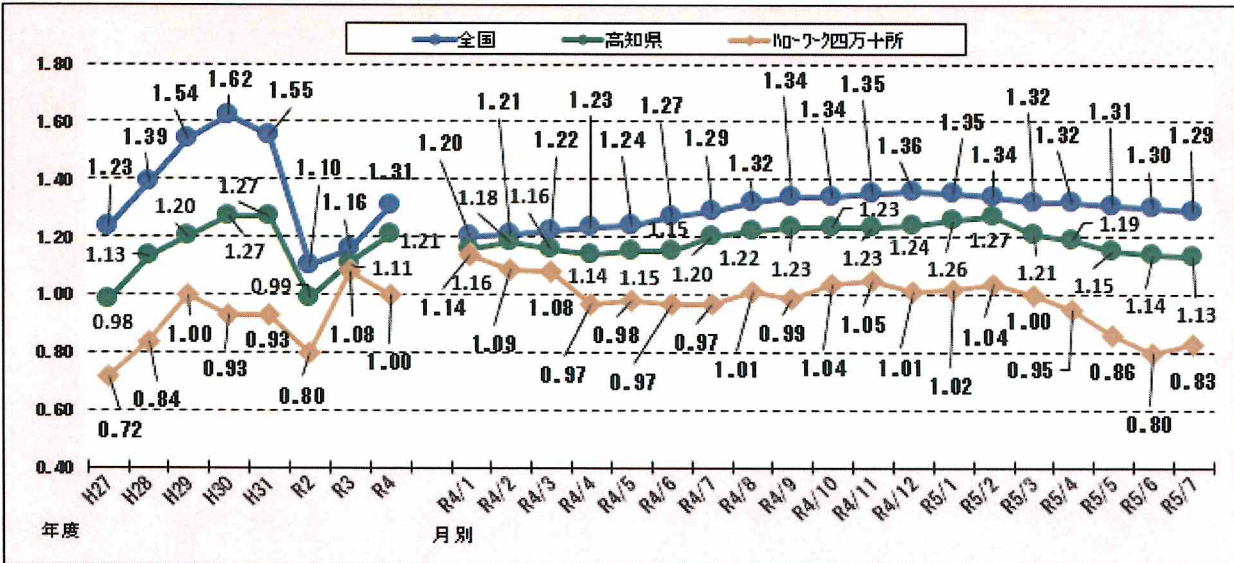
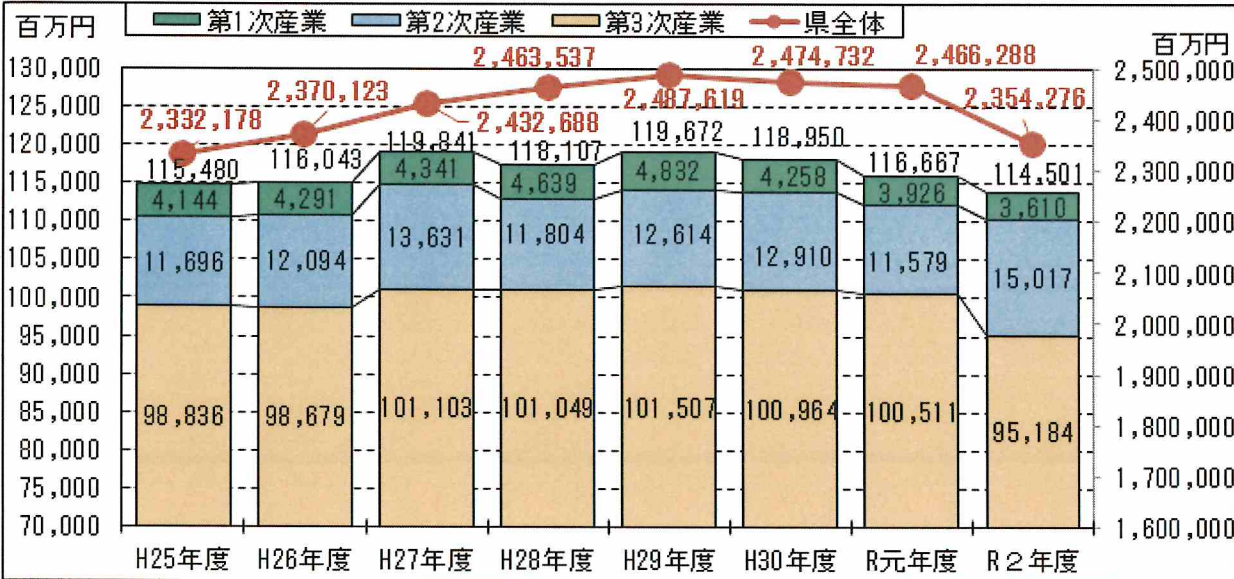
社会動態（転入数、転出数）→【社会増減】令和2年：▲55人 令和3年：▲86人 令和4年：▲80人 計▲221人

産業振興計画の計画全体を貫く目標として「令和2年から令和6年までの人口の社会増減をプラスにする」と設定

令和5、6年の2カ年で222人以上の社会増を生み出すことが必要

# 1 四万十市の産業状況等②

## 2 市内総生産額・有効求人倍率



	令和元年度	令和2年度
県内総生産額	2兆4,662億円 (▲0.3%)	2兆3,542億円 (▲4.5%)
総生産額が 1,000億円を 超える市町村	①高知市 1兆2,134億円(▲ 0.4%) ②南国市 2,020億円(+1.0%) ③四万十市 1,166億円(▲2.0%)	①高知市 1兆1,496億円(▲ 5.2%) ②南国市 1,981億円(▲1.9%) ③四万十市 1,145億円(▲2.1%)

【令和2年度市内総生産 (GDP)】

1,145億円 (前年比▲2.1%)

【県内総生産額】

2兆3,542億円 (前年比▲4.5%)

産業振興計画の計画全体を貫く目標として

令和6年度の市内総生産額1,150億円以上を目指す  
と設定

【有効求人倍率】

四万十市：令和5年5月⇒0.86 6月⇒0.8 7月  
⇒0.83

3ヶ月連続で1倍を下回る。

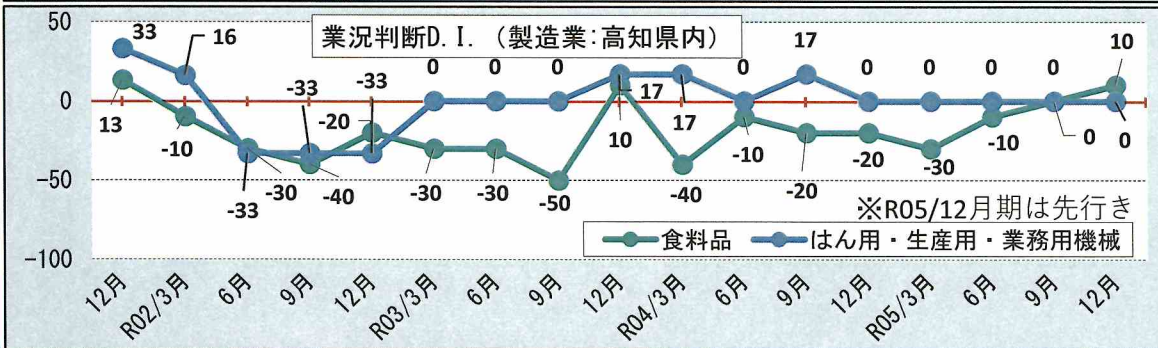
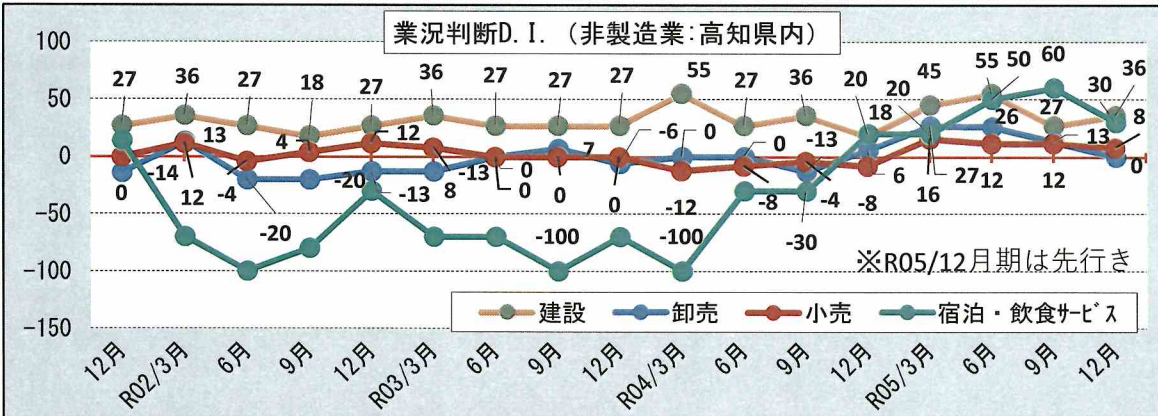
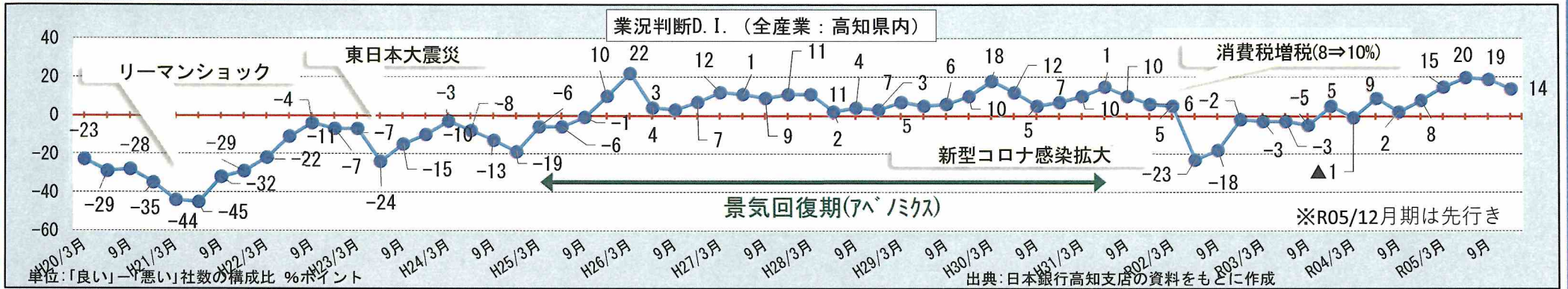
全国：令和5年5月⇒1.31 6月⇒1.3 7月⇒1.29

高知県：令和5年5月⇒1.15 6月⇒1.14 7月  
⇒1.13

いずれも右肩下がり

# 1 四万十市の産業状況等③

## 3 高知県内の業況判断



【日銀短観 (R5年10月発表)】

≪業況判断D.I. (全産業)≫ 令和4年12月プラス8

⇒ 令和5年3月プラス15、6月プラス20、9月プラス19

12月先行きプラス14、R4年12月との比較6ポイント上昇見込み

≪業況判断DI (非製造業)≫

建設12月プラス18⇒令和5年3月プラス45、6月プラス55

卸売12月プラス6⇒令和5年3月プラス27、6月プラス26

小売12月マイナス8⇒令和5年3月プラス16、6月プラス12

宿泊・飲食サービス12月プラス20

⇒ 令和5年3月プラス20、6月プラス50

≪業況判断 (製造業)≫

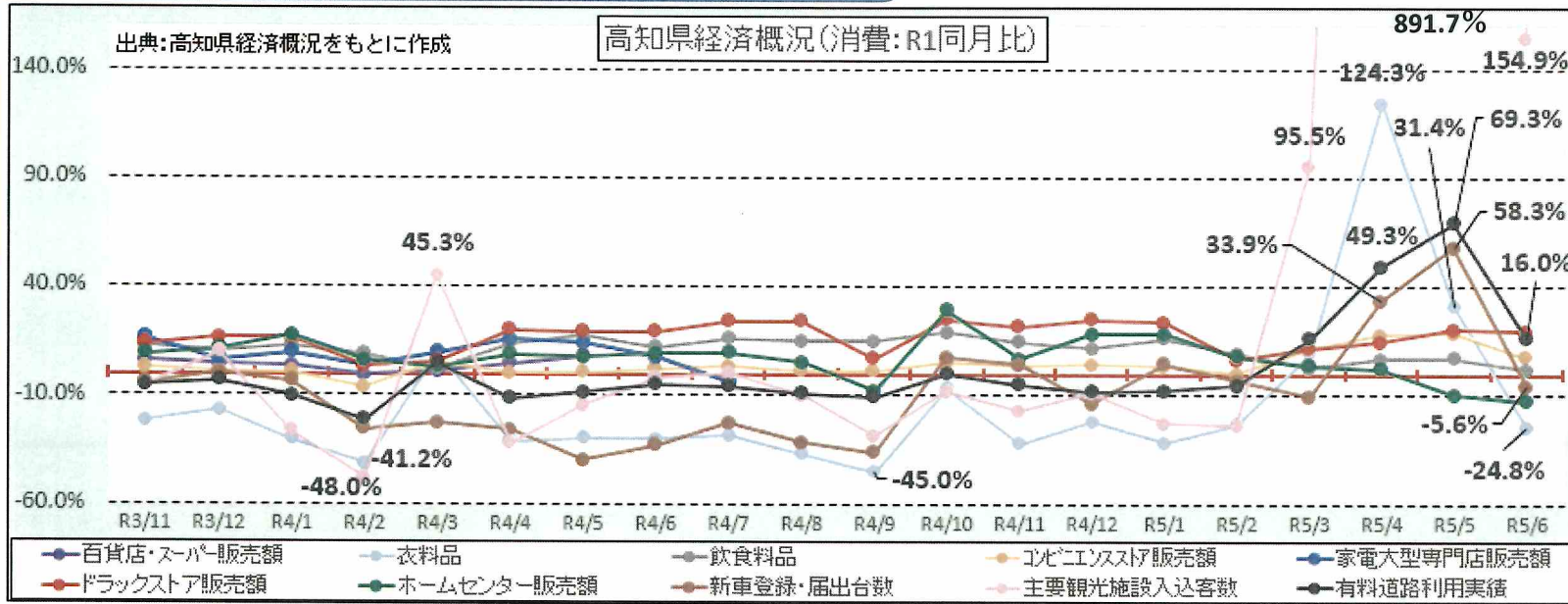
食料品12月マイナス20⇒令和5年3月マイナス30、6月マイナス10

はん用・生産用業務用機械12月プラスマイナス0

⇒ 令和5年3、6月プラスマイナス0

# 1 四万十市の産業状況等④

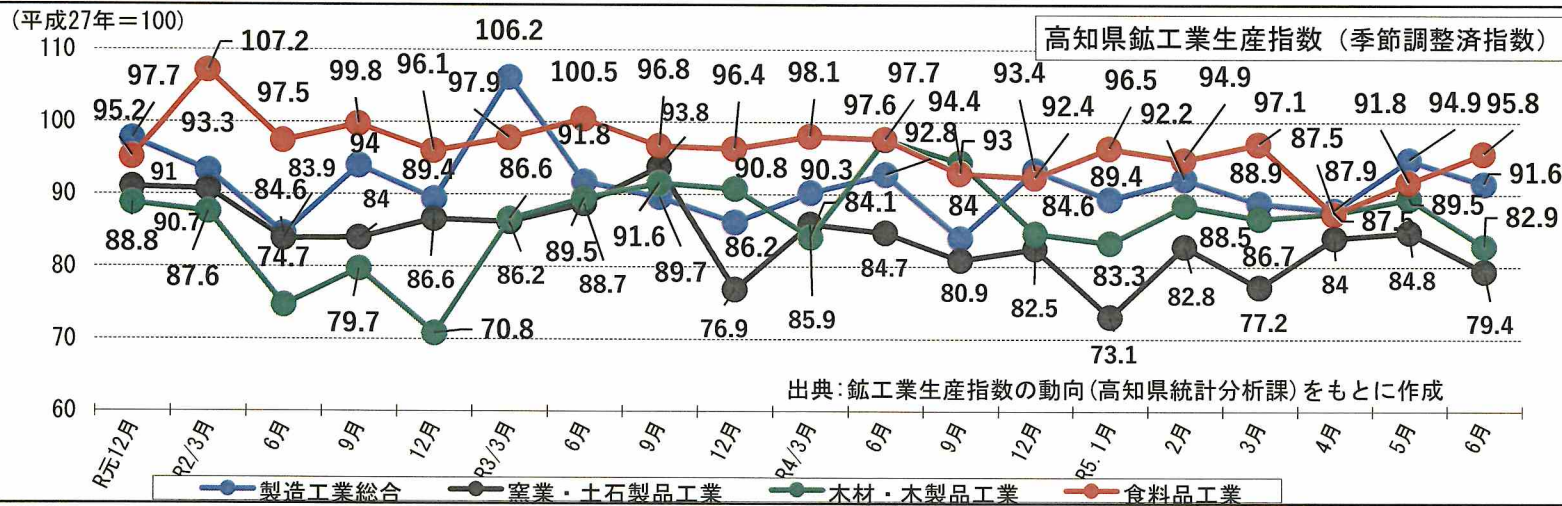
## 4 県内の経済概況（消費：令和元年同月比）



### 【前年同月比較】

5月分  
 主要観光施設入込客数：  
 891.7%  
 有料道路利用実績：69.3%  
 新車登録・届出台数：58.3%  
 衣料品：31.4%  
 ドラッグストア販売額：  
 33.9%  
 ※飲食料品、ホームセンター  
 販売額、コンビニエンスストア  
 販売額などはいずれも増減  
 30%以内

## 5 高知県鉱工業



### 【H27年度 6月対比】

製造工業総合91.6  
 ▲8.4ポイント  
 窯業・土石製品工業79.4  
 ▲20.6ポイント  
 木材・木製品工業82.9  
 ▲17.1ポイント  
 食品工業95.8  
 ▲4.2ポイント

## 2 令和5年度各産業分野の動き（主なもの）①

令和5年 上半期の取り組み

### ★戦略の柱1 産地としての維持・強化

1 ぶしゅかんの産地づくり【連携AP3・農AP1⇒資料2 P2、P7】

①ぶしゅかん産地化・普及推進事業

⇒【継続】新規定植（苗木代の補助）、防護柵の設置支援（柵設置補助）

⇒【継続】現地検討会、各種商談会等による販路開拓・販売促進活動を実施

新植面積H30: 10.9ha→R4: 14.9ha 生産量H30: 28.1t→R4: 19.7t

2 栗の産地再生【連携AP3・農AP3⇒資料2 P2、P7】

①栗暮プロジェクト

⇒【継続】実証農園運営（農業公社へ委託）水田からの転換・新改植推進（苗木代の補助等）

栽培面積H30: 48ha→R4: 58.6ha 生産量H27～30平均23.5t→R4: 17.2t

3 有望品目の産地強化【農AP5⇒資料2 P7】

①米ナスの振興

⇒【継続】道の駅でのナスフェス開催、PR活動（西土佐地域産業振興推進協議会）

②わさび実証実験2作目管理

⇒【継続】商品開発・販路の開拓活動

4 環境保全型農業の推進【農AP7⇒資料2 P8】

①環境保全型農業直接支払交付金事業

⇒【継続】レンゲの作付け



### ★戦略の柱2 地元農畜産物の利用・販売促進

1 ブランド化の推進【連携AP3・農AP16⇒資料2 P2】

①しまんと農法米普及促進事業

⇒【継続】首都圏や高知市内のフェアに出展、旅館組合、飲食店及び保育所等への販売促進

しまんと農法米の生産拡大: 生産量 H30: 33.2t→R4: 65.6t(目標R6: 80t)

### ★戦略の柱3 担い手の確保・育成

1 新規就農者の確保・育成【農AP20～24⇒資料2 P9、P10】

①新規就農者等への支援、集落営農組織化、法人化の支援

⇒【継続】研修生手当、受入農家等研修補助金の交付（中村新規1人、継続2人、西土佐継続1人）

⇒【継続】新規就農者育成総合対策事業（就農準備資金の交付など）

⇒【継続】組織化・法人化への誘導、地域営農支援事業（雇用確保支援金、機械購入費等の助成）

### ★戦略の柱4 農地の利用促進

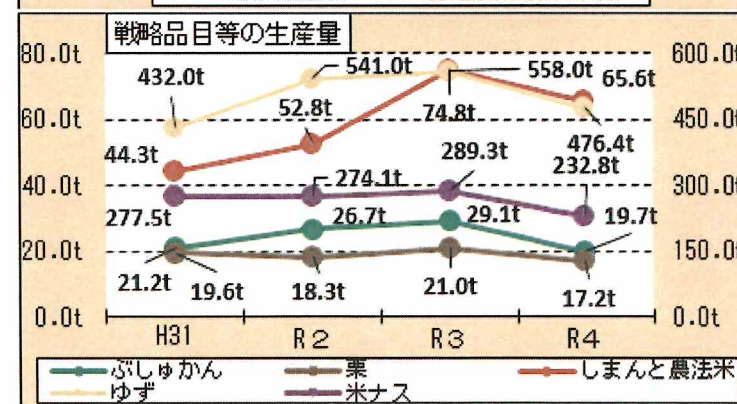
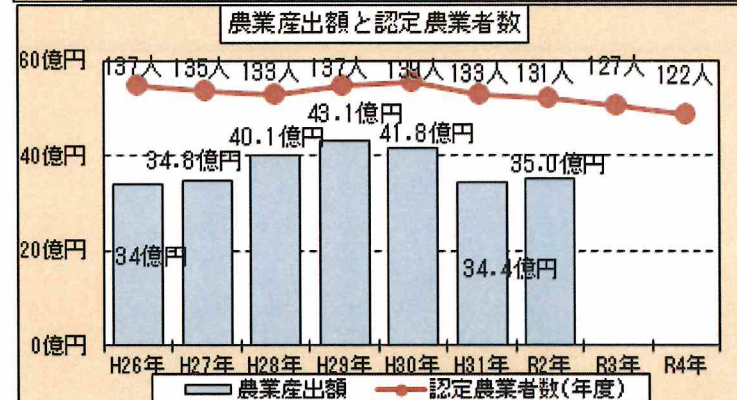
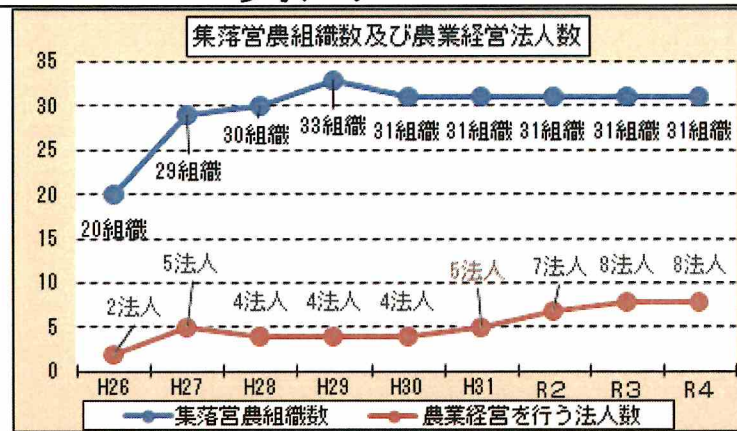
1 農地の利用調整【農AP25、27⇒資料2 P10、P11】

①人・農地プラン ⇒【継続】地域計画の策定準備（R6年度末までの期限）

②農中間管理事業 ⇒【継続】市内全域での中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし

③その他の取り組み ⇒【継続】農地利用状況確認（農地パトロールなど）

参考データ



農  
業  
分  
野

## 2 令和5年度各産業分野の動き（主なもの）②

令和5年 上半期の取り組み

### ★戦略の柱1 四万十の山づくり

#### 1 長期視点に立った産地づくり【林AP2、9⇒資料2 P12】

- ① 森林経営管理制度（森林環境譲与税）
  - ⇒【継続】森林所有者の意向・林況調査（中村地域：中筋、西土佐地域：西ケ方）
  - ⇒【継続】幡多地域森づくりセンターによる集積計画案等の作成
  - ⇒【継続】未整備森林の整備（中村地域：後川、西土佐地域：奥屋内）

#### 2 長伐期施業の推進【林AP5、6、7⇒資料2 P12】

- ① 市有林整備事業
  - ⇒【継続】市有林を活用した森林整備（長伐期）、協働の森事業など

#### 3 林業事業体・担い手育成確保事業【林AP9⇒資料2 P13】

- ① 林業事業体及び林業技術者の育成支援
  - ⇒【継続】国の緑の雇用活用事業（R5：9人）
  - ⇒【継続】林業担い手支援事業（森林環境譲与税）
- ② 兼業型林業事業者の育成支援
  - ⇒【継続】原木増産事業（バックホウレンタル3人）



### ★戦略の柱2 市産材の利用促進と販売力の強化

#### 1 市産材の利用促進【連携AP1・林AP1⇒資料2 P1、P12】

- ① 木造住宅建築促進
  - ⇒【継続】市産材利用促進事業（申請見込30件）
- ② 市産材の利用促進及び情報発信の強化
  - ⇒【継続】文化センターへの市産材利用

#### 2 四万十ヒノキのブランド化の確立【連携AP1・林AP1⇒資料2 P12】

- ① 四万十ヒノキブランド化の推進
  - ⇒【新規】収穫期を迎えたヒノキの今後の整備方針の検討・協議（四万十ヒノキブランド推進協議会）
  - ⇒【新規】四万十ヒノキ（80ヒノキ）の育成方法の検討・協議（四万十ヒノキブランド推進協議会）
  - ⇒【継続】四万十ヒノキの家見学・宿泊体験（見学96人、宿泊38組、延べ175人）
- ② その他の取り組み
  - ⇒【継続】林業に関するPR活動など



### ★戦略の柱3 健全な森づくり

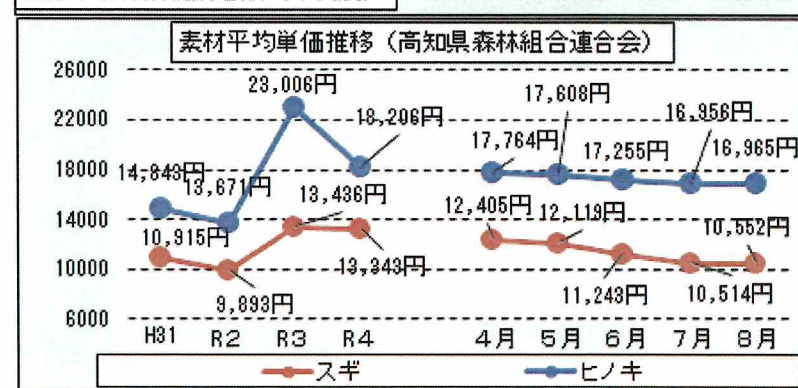
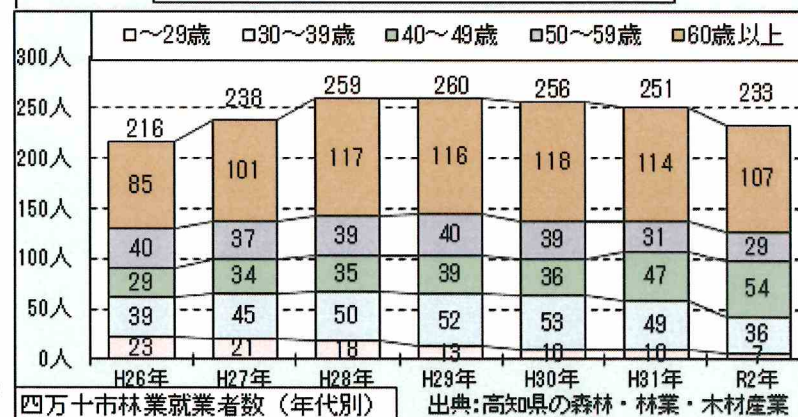
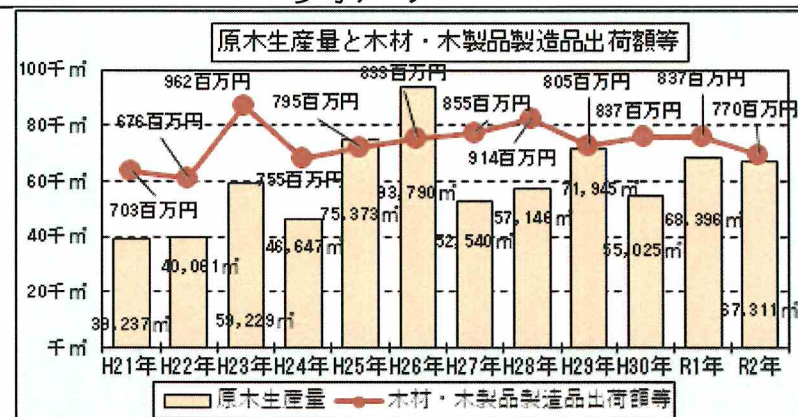
#### 1 鳥獣被害対策【林AP8⇒資料2 P13】

- ① 鳥獣被害対策事業
  - ⇒【継続】有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援

#### 2 捕獲の担い手確保、育成【林AP22⇒資料2 P14】

- ① 新規狩猟者確保・育成事業
  - ⇒【継続】新規狩猟者の受講料支援（実績7人）
  - ⇒【継続】市広報でPR活動

参考データ



林業分野

## 2 令和5年度各産業分野の動き（主なもの）③

令和5年 上半期の取り組み

参考データ

### ★戦略の柱1 水産資源の拡幅・生産量UP

#### 1 天然水産資源の回復・増殖【水AP1・2・4⇒資料2 P15】

##### ①漁場環境、資源量乙の調査・研究

⇒【継続】河川調査、環境改善に向けた調査分析等

(四万十川漁業振興協議会)

⇒【新規】新組織設立に向けた検討(河川環境保全・整備に関すること)

⇒【継続】ヒトエグサ漁場環境調査

##### ②生育・漁場環境の保全・整備

⇒【継続】四万十川自然再生事業(アユの産卵場整備、モニタリング調査など)

(国土交通省、四万十川自然再生協議会)

#### 2 栽培漁業等の推進【水AP3・4・5⇒資料2 P15】

##### ①効果的な種苗放流の推進

⇒【継続】種苗放流(西部:稚アユ615kg、中央:稚アユ1,075kg)

⇒【継続】スジアオノリの陸上養殖の推進

#### 3 地域に根差した資源管理の仕組みづくり【水AP6・7⇒資料2 P15】

##### ①テナガエビ類の禁漁(9~3月)

⇒【継続】禁漁期間の周知(協力依頼)など

水  
産  
分  
野

### ★戦略の柱2 水産物の加工・販売促進

#### 1 販売力の強化と自販路拡大【連携AP8⇒資料2 P5】

##### ①ブランド力強化・販路拡大

⇒【継続】活アユの豊洲市場出荷、物産展などへの参加

(川エビパエリア、天然鮎のコンフィ缶なども販売)

⇒【継続】四万十市デカイ鮎釣った人が優勝グランプリ、利き鮎大会開催など

⇒【継続】高知県の「あゆ王国高知振興ビジョン」との連携



### ★戦略の柱3 水産資源を活用した交流の拡大

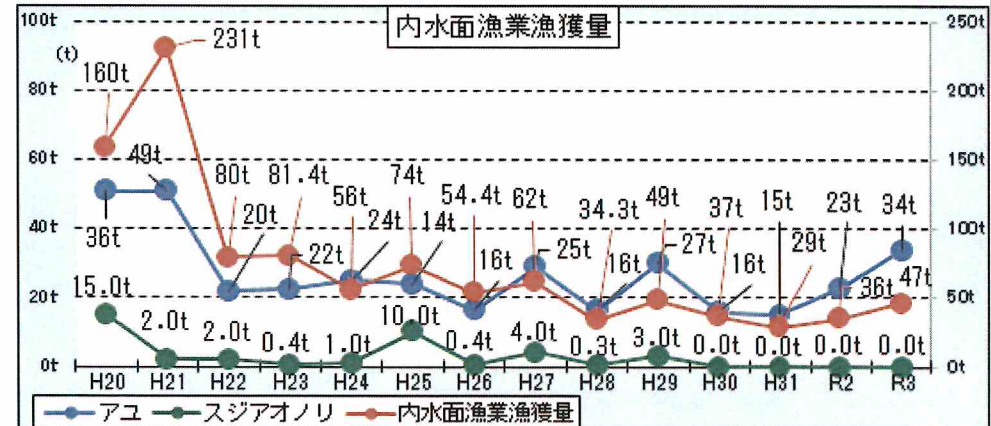
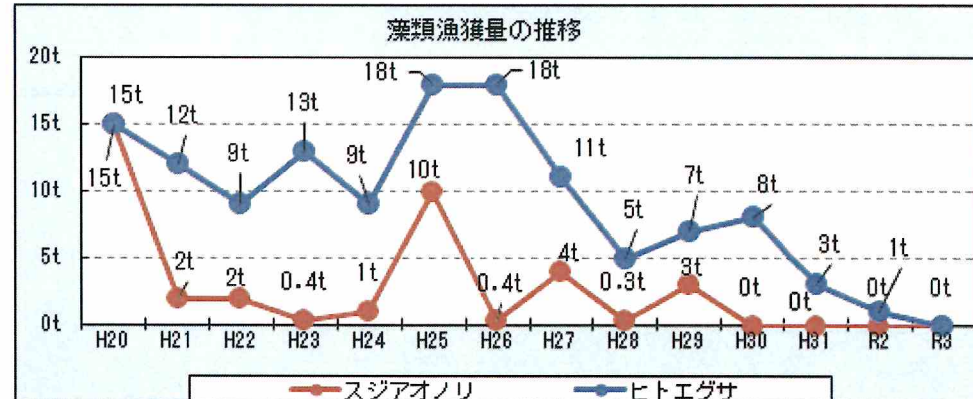
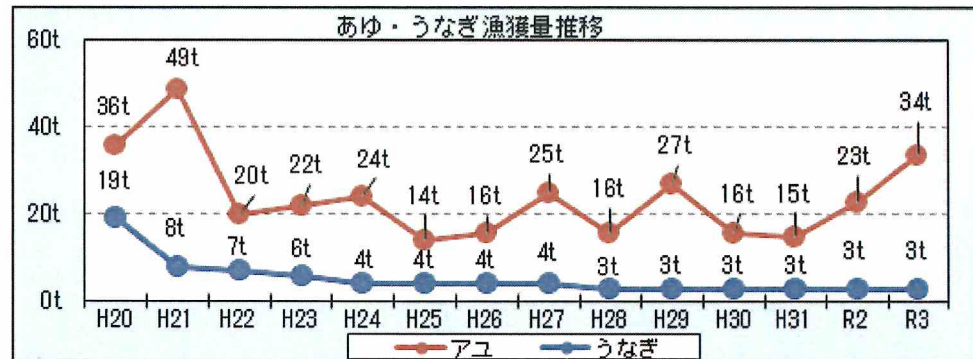
#### 1 体験教室等の開催【水AP16⇒資料2 P16】

⇒【継続】川漁体験学習(稚アユ放流、アユしゃくり漁、投網漁、つかみどり体験)

(四万十川中央漁業協同組合)

⇒【継続】四万十川ガキ体験(カヌー・サップでの川下り)

(四万十の日実行委員会)





## 2 令和5年度各産業分野の動き（主なもの）④

令和5年 上半期の取り組み

参考データ

### ★戦略の柱1 顧客に選ばれる商工業の振興

1 商品の販路開拓・販売促進【連携AP8⇒資料2 P4】

- ①県内外における地産外商活動の推進  
⇒【継続】県内外(高知市、旭川市など)での地産外商活動
- ②特産品等販売促進事業  
⇒【継続】東京都等での大規模商談会への出展支援

※東京都:東京インターナショナルギフトショー、イトーヨーカドー物産展など

⇒【新規】産業振興推進総合支援事業費補助金  
地元食材を活用した加工品の開発・製造施設整備支援  
(事業費143,679千円、交付決定額50,000千円)

### ★戦略の柱2 中心市街地・商店街等の活性化

1 回遊性集客力のための拠点づくり【連携AP2・商AP10⇒資料2 P1、P18】

- ①中心市街地にぎわい拠点施設を核とした商店街等活性化事業  
⇒【継続】拠点施設を核とした商店街活性化の協議(月1回)、商店街広報誌作成  
⇒【継続】活性化イベントの開催(4、8月:はれのぼマルシェ、9月:よさこい四万十)

⇒【継続】中心市街地活性化に向け地域おこし協力隊事業活用  
②日常の賑わいにつながる仕組みづくり【商AP12⇒資料2 P18】  
⇒【継続】チャレンジショップ事業(天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名

③文化複合施設整備事業(R6完成)  
⇒【新規】市産材(ヒノキ)のPR、イベント等開催

④地方創生臨時交付金事業  
⇒【新規】プレミアム付商品券事業(7,000円分を5,000円で販売(プレミア率40%))  
販売冊数:55,000冊(3億8千5百万円)



### ★戦略の柱3 中山間地域の商業機能の確保

1 小さな(田舎)ビジネスの推進【連携AP1⇒資料2 P2】

- ⇒【再掲】道の駅ナスフェス(西土佐地域産業振興推進協議会)
- ⇒【継続】道の駅あゆイベント(西土佐地域産業振興)

### ★戦略の柱4 企業誘致

1 情報通信関連産業【商AP19~21⇒資料2 P19】

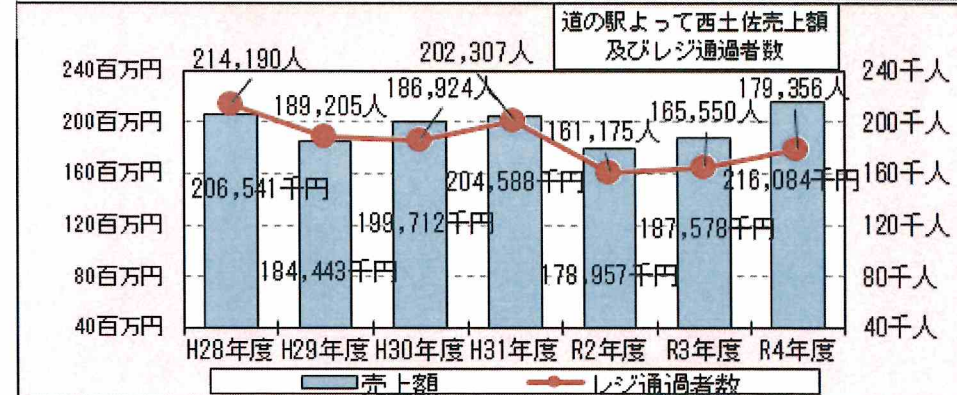
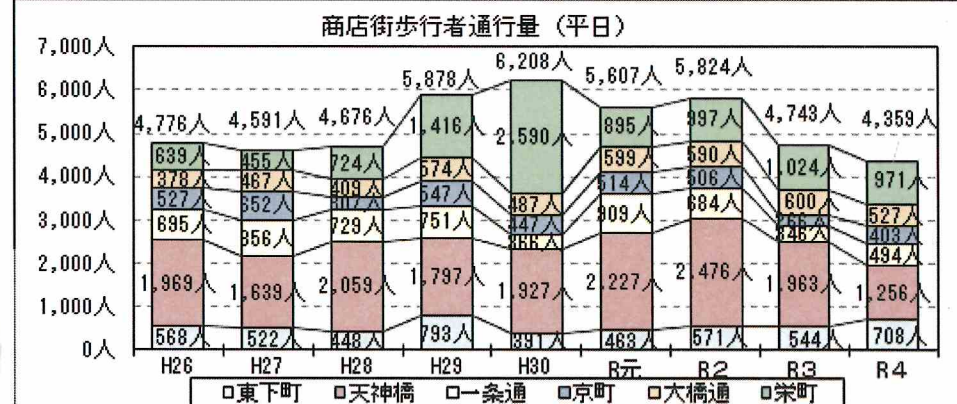
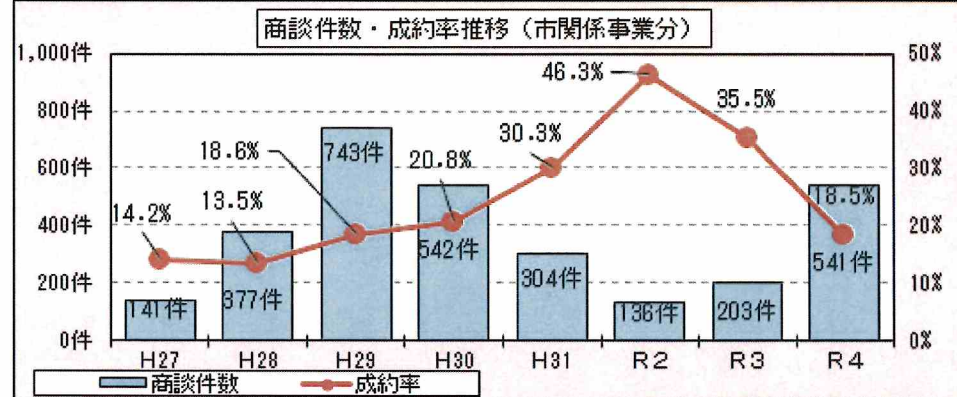
- ①県と連携した企業誘致活動を継続  
⇒【継続】立地企業交流会(主催:高知県)、立地企業のフォローアップ

その他

⇒【継続】雇用対策協定に基づく事業計画の効果的な実施  
令和5年度第1回四万十市雇用対策運営協議会実施  
(令和5年度事業計画の策定、進捗管理について協議)

	R6目標値	R1	R2	R3	R4
はれのぼ 入込客数	120,000人/年	—	105,611人	90,324人	104,341人
中心商店 街新規出店数	累計16店舗	6店舗	5店舗	1店舗	4店舗

※出店数累計は、R1~6まで



## 2 令和5年度各産業分野の動き（主なもの）④

令和5年 上半期の取り組み

参考データ

### ★戦略の柱1 滞在型の観光地づくり

#### 1 地域観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり【連携AP7⇒資料2 P3】

##### ①観光商品の磨き上げ・観光商品づくり

⇒【継続】観光動向調査等を実施し、観光商品づくり

⇒【継続】ONSEN・ガストロミーツーリズムの令和6年3月開催に向けた企画・情報発信

2022年度ONSEN・ガストロミーウォーキング表彰（ONSEN・ガストロミーツーリズム推進機構）

四万十市：ガストロミー賞受賞

⇒【継続】5月：しまんとリバーベキュープロジェクト総会

9月：日本バーベキュー協会との協議連携

※道の駅よって西土佐・星羅四万十のBBQを推進していく。

⇒【継続】四万十市クーポン事業（第3弾）（新型コロナ対策事業）

登録数：提携施設43、店舗187 クーポン券配布数2,000円×市内1万泊

⇒【継続】連続テレビ小説を生かした博覧会

大宮バラ園草花ガイド案内、草花周遊マップ「草花手帖」作成

⇒【再開】教育旅行・田舎暮らし体験受入れ（四万十市体験型観光受入研究会）

R5.5.25～5.27（2泊3日）1校33人

⇒【新規】観光再始動事業（高付加価値な観光商材の開発）（四万十市観光協会）

最後の清流四万十川 living with the river（川とともに生きるまち）

～トンボと川漁から川と人の共生のかたちを考える旅～

#### 2 広域連携による周遊観光の推進【連携AP7・観AP5⇒資料2 P4】

##### ①広域連携による周遊観光の推進

⇒【継続】商談会・モニターツアー（幡多広域観光協議会）

⇒【継続】教育・団体旅行の受入（幡多広域観光協議会）



観  
光  
分  
野

### ★戦略の柱2 観光商品の外商の推進

#### 1 観光商品のセールス及び情報発信の強化【連携AP9⇒資料2 P5】

⇒【再掲】商談会、セールス活動、モニターツアーの実施、教育旅行受入など

⇒【継続】デジタルパンフレットの作成

⇒【継続】SNS（インスタ、フェイスブック、YouTube）での情報発信

⇒【新規】第35回龍馬worldin四万十実行委員会（事務局：四万十市観光協会）

※10/27前夜祭、10/28本大会、交流会、10/29エクスカッション

### ★戦略の柱3 おもてなしの向上

#### 1 おもてなし環境の整備【観AP8～10⇒資料2 P20】

⇒【継続】2次交通（川バス、市内循環バス、しまんと・あしずり号）の継続運行

⇒地域活性化起業人（9/4バリアフリー観光セミナー開催、下期「外国人おもてなしセミナー」）

※計画

### ★戦略の柱4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成⇒資料2 P27、28

#### 1 観光人材の育成、確保【観AP15～16⇒資料2 P21】 ⇒【継続】観光ガイドミーティングなど

